

- 1 日 時：令和元年 8 月 28 日（水）14：05～16：53
- 2 場 所：福岡市総合図書館 3 階 第 2 会議室
- 3 出席者：委 員）青沼美撫子，上村篤子，岡野秀之，高橋昇，西村早苗（計 5 人）
事務局）松本館長，内藤事業管理部長，若山運営課長，宮川図書サービス課長，
小森文学・文書課長，八尋映像資料課長 他
傍聴人）4 名

4 議事録

1. 開 会

委員紹介／事務局紹介

2. 委員長の選出

委員の互選により，高橋委員を委員長に選出

3. 新ビジョン事業計画の点検評価

(1) 平成 30 年度新ビジョン事業計画の取組状況及び内部評価についてのヒアリング

	<p>【事業別の評価調書について】</p> <p><1 分館の新設></p>
委 員	早良南図書館（仮称）の開館に向けて具体的に準備を進めたとあるが，地域の読書活動団体の意見を聞く場は設けたか。
事 務 局	現在，主に分館の仕様等について，建設を行う P F I 事業者と協議を行っている。地域の団体に直接意見を聞いているわけではないが，読書相談員の意見を聞きながら，他館の現状や利用者の状況を踏まえて進めている。
委 員	総合図書館の建設の際は，随分意見を取り入れてもらい，部屋が明るくなったり使い易くなったりしたので，意見を生かしてつくってほしい。
委 員	早良南図書館（仮称）の分館のあり方については前から意見を伝えている。東図書館で窓から太陽光が差し込むなどの事例があるが，司書が基本計画から入って運営側の意見を伝えないとうまくいくか心配である。
事 務 局	P F I の要求水準書の作成に当たって，分館の読書相談員から意見を聞いている。なお，太陽光の差し込みは課題と認識しており，早良南図書館（仮称）では，夏至と冬至の日射角度を検証し，庇の大きさを調整するとともに陽が長い時期はブラインド等で対応可能となるよう設計している。複合施設なので図書館側からの注文どおりにはいかないが，制約のある中でも使いやすく利用者に親しみのある図書館となるよう取り組んでいく。
	<p><4 図書館イベントの充実></p>
委 員	他都市の図書館で，新たに就任した指定管理者の館長が，読書活動団体の交流会の際に，ボランティア活動における著作権について配慮を欠く発言を行った例があった。福岡市はきちんと指導しているか。
事 務 局	気になるところは指摘している。おはなし会や読み聞かせ団体等による著作物の利用については，日本書籍出版社協会の読み聞かせ著作権に関するガイドラインなどを活用しながら，機会を捉えて啓発していく。

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>< 3 開館時間, 休館日の見直し 4 図書館イベントの充実 5 やすらぎと交流の場づくり ></p> <p>3 東図書館は開館が早いので, 他の分館も続いてほしいと思っているが, 開館時間の延長の検討は何か問題でもあるのか。 4 図書館マンスでの展示はそれぞれの分館で努力しているが, 館内が狭いので目立たない。もっとみんなに知ってほしい。 5 総合図書館の利用者はゆっくり寛いでいる。利用についてもっと広報したらどうか。開館時間, 休館日の見直しについては, 分館の設置場所, 交通機関, 周辺住民の年齢構成等を踏まえながら検討している。課題の一つは経費であり, 開館時間延長は経費がかかるので, 対費用効果も考える必要がある。交通の便の良し悪し, 周辺の人口等, 全分館を同じように考えるのではなく, 地域ごとに検討してもいいのではないかと思っているが, 実行するのは現段階では難しい。試行的に行うことで効果を検証したいと思っている。場づくりについての広報は, 市政だよりやホームページ等で広報していきたい。映像部門や図書部門での講座などのイベントについては, チラシを各分館や情報プラザ等で配布しているが, 今後も広報を工夫していきたい。図書館マンスについては各館工夫を凝らして行っているが, 目立たないという指摘は各分館に伝える。</p>
<p>委員</p>	<p>< 6 館内レイアウトの変更 ></p> <p>館内レイアウトは, 昔からの懸案事項だが, いつ案が出てくるのか。神奈川県大和市の文化拠点施設シリウスは劇場と図書館が一体的に整備されており, イベントと図書館資料とを結び付けたり, オープンスペースでいつも何かが行われていたりしている。集客の参考になるのではないか。</p>
<p>委員</p> <p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>< 2 貸出・返却拠点等の新設 ></p> <p>返却拠点は現状では総合図書館に近い箇所が多いが, 東区や南区の遠隔地についてはどう考えているのか。</p> <p>新ビジョンの事業計画の平成 26 年度～平成 30 年度で貸出拠点 15 地点, 返却拠点を 25 地点設置する予定であったが, 実現した場所が少ない。5 年間何をしてきたのか。</p> <p>現状は貸出拠点 13 地点, 返却拠点 24 地点で目標に達していない。前期の事業計画期間の 5 年では, 貸出拠点として科学館を設置したが, 非常に利用者が多い。今後, 貸出拠点の設置で問題になるのは, 運営費, 人件費, 運搬経費だが, 特に物流は現状で満杯なので, 拠点を増やすとなるとルート新設となり相当経費がかかる。拠点の位置についても, 総合図書館から遠いところか交流人口が多いところかなどを検討する必要がある。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>< 7 資料収集の充実 ></p> <p>電子書籍は, 具体的にどうなったのか。また, 市民ニーズに答える選書とはどういったものか。</p> <p>電子書籍は, 全国的に広がってきた。7 月のシステム更新で配信できる環境が整った。どのようなものを配信するかが課題であり市民ニーズに踏まえたものをどのように選ぶか関わってくる。電子書籍は毎年費用がかかるが, 書籍は一度購入するとその後費用は掛からない。配分をどうしていくかが課題である。</p>

	資料収集では、リクエストなどを通じて市民ニーズを把握し、図書館が選書を行っている。昨年は予約件数が多い図書の複本の整備や、科学系の児童書に焦点をあてた収集を行った。
委員 事務局	ビジネス関連の本を入れてほしいという要望はないか。 ビジネス関連に関しては特にリクエストはない。ビジネス支援に関しては、福岡市では創業支援を専門とするスタートアップカフェなどの施設が別に整備されていることも一因ではないか。
委員 事務局	本を借りる時に、福岡市には無いと言われて他市から相互貸借で借りる場合があるが、高額な本や学術的な本は買わないとかいうルールがあるのか。 選書の際は各部門の読書相談員が蔵書の状況を勘案し資料を参照しながら決めていく。高額だから買わないというルールはなく、全体の予算の中から決定しており、福岡市にしかない図書も多い。県内のネットワークで互いに補っている。
	<8> レファレンスサービスの充実>
委員 事務局	電子メールレファレンスについては目標値 1,500 件に対し実績 83 件と、差がありすぎると思うが、理由等を分析しているのか。 当時、福岡県立図書館の実績を参考に 1,500 件という目標値を設定したと思われるが、県立図書館と市町村の図書館の機能は異なることもあり、目標到達には至らなかったが、現実的には福岡市と規模の近い京都市や広島市なども同程度の利用となっている。この項目は件数をあげるのではなく、利用者にとどのようなチャンネルを提供できるかが目的であり、電子メールでのレファレンス受付と回答という手段を提供できたので、一定の目的は達成されたと考えている。
委員 事務局	福岡市は窓口での相談は充実していると思うが、一般的にレファレンスサービスについての認知度が低いと考える。 レファレンスサービスの周知啓発の一環として、図書館で調べものができるということのを小さいうちから知ってもらうため、夏休みの自由研究に役立つパスファインダーを十数種類作成して配布しており、7～8月は、レファレンスカウンターに子どもたちが相談に来ている姿が見られる。
委員 事務局	学校図書館では、小中学生の学校図書室の利用と学校司書の充実が比例しており、学校司書が常駐して本の紹介をしてくれる環境があれば貸出も多い。図書館でも同じなのでレファレンスサービスを進めてほしい。
	<9> 情報提供の充実>
委員 事務局	文部科学省は、①ビジネス支援②行政情報提供③医療関連情報提供④法務関連情報提供⑤学校教育支援・子育て情報支援⑥地域情報・地域文化発信の情報提供を求めている。福岡市で抜けているのが行政情報提供と法務関連情報提供である。法務関連は、法テラスが行っているが、情報提供の項目として検討されたい。 行政情報の提供としては情報プラザが専門で行っているが、図書館でも企画展示と併せて関連する行政情報を提供している。法律に関する企画展示も行っているが、特に法務情報に特化したイベント等の取組は行っていない。分館では、中央図書館などは特色の中で法務や行政情報のコーナーを設置している。
委員 事務局	終活に関して遺産相続に関する講演会なども行ってはどうか。 医療支援について、九州がんセンターと接点ができたことをきっかけに、がん講演

<p>委員 事務局 委員</p>	<p>会を実施でき、現在はシリーズ化している。また、そこから済生会福岡病院ともつながりができ、昨年度から分館でも医療情報に関する講演会を行えるようになった。別の分野でも同様に考えていきたい。</p> <p>子育て支援の課題解決に対して何か行っているか。</p> <p>親子対象のお箸の持ち方講座や、分館で子育て応援講座を行っている。</p> <p>東図書館では保健所の乳幼児健診の時間にあわせておはなし会が行われているが、そのような取り組みが広がればいいと思う。</p>
<p>委員 事務局 委員 事務局</p>	<p><14 議会図書室との連携></p> <p>議会図書室との連携について、後期は目標設定しないとしている。議会図書室がどれだけ機能しているか不明だが、議員の条例案作成をサポートしているのか。国立国会図書館が行っているような機能は総合図書館には期待されていないのか。</p> <p>福岡市議会議員の調査や条例立案に関しては、議会事務局に調査・法制課という部署が衆議院法制局のような役割を果たしており、議会図書室もここに属している。</p> <p>条例案の作成に当たっては、法律資料だけでなく様々な文献調査を行う必要があるが、総合図書館を活用できないか。</p> <p>議会図書室には司書が配置され、議員からの要請に応じて文献調査などのレファレンスサービスを行っており、必要に応じて総合図書館との連携も可能である。件数として目標設定は行わないが、今後も広報に努めていく。なお、今年は市議会の改選期に当たるため、新人議員に対して、総合図書館と議会図書室との連携について説明を行ったと聞いている。</p>
<p>委員 事務局 委員 事務局</p>	<p><12 団体貸出先の拡大></p> <p>団体貸出の団体登録をしている高齢者施設を見学したところ、利用者に喜ばれているとの話だった。高齢者施設や病院の登録は今後増やしていくのか。</p> <p>団体貸出はこれまで右肩上がりに登録団体数が増えてきたが、物流の上限があるため広く登録を呼びかけてきたわけではない。各団体の活動状況を詳細に把握できているわけではないので、現在、数団体を訪問してヒアリングを行っている。</p> <p>高齢者施設、医療施設に加え、矯正施設の図書室にも将来的に貸し出せるように検討してほしい。</p> <p>現在、九州がんセンターや福岡大学病院など患者図書館のある病院を中心に登録があり、リクエストを受けて資料収集に反映させている。矯正施設は現時点で接点はないが、今後検討する。</p>
<p>委員 委員 事務局 委員</p>	<p><17 新一年生への貸出カードの付与></p> <p>夏休み前に学校の先生に図書館を利用して自由研究するように伝えてもらい、そのタイミングで貸出カードをつくるよう働きかけてはどうか。</p> <p>学校の図書室だけで借りるのではなく図書館を利用するように広げてもらってはどうか。インターネットだけで調べるのではなく行ってみたくなる図書館にできないか。</p> <p>小学生と図書館の関わりとしては、「読書リーダー養成講座」があるが、参加者は学校に帰って活発に読書活動を行っているようだ。</p> <p>本を好きな子は何もしなくても本を読むので、本に興味がない子に対しての活動と</p>

事務局	して、地域に出向く企画を考えてみてはどうか。
委員	読書相談員が地域に出向くのは有効だと思うが、体制の問題で難しい。本を好きな子を増やすことも必要だが、ほかの娯楽もある中で本を読む子が読まなくなってしまうように、つなぎとめるのも必要である。ブックスタートやおはなし会を通じて、小さい頃から本に馴染んでもらうよう取り組んでいく。
事務局	中学生、高校生になると読書率が下がる。部活や塾で忙しくなり本を読まなくなる状況がある。
委員	<21 図書館外施設でのアジア映画上映事業 >
事務局	あじびホールでのアジア映画の上映を年に何回か行い、固定化して特色をだしてほしい。城南市民センターに続く市民センターでの上映はなかったのか。
事務局	2年前に城南市民センターで行った。2回上映し100名の観客者があった。去年は、アジア美術館で行われた「アジアの木版画展」の企画の一つとしてあじびホールで行った。共同企画で広報も行い客の入りを期待したが、観客数は期待には届かなかった。市民センターは会場が大き過ぎることと、設備が使いづらかったので、あじびホールを使った。
委員	<23 歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化 24 古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化 >
委員	23 国立国会図書館も、国の省庁が公文書を出してこないと言っている。条例を作って必ず総合図書館に文書を移管するようにしたらどうか。資料が残っていないと市史が書けなくなる。
事務局	文書は保存期間も決まっており総合図書館は公文書を保管する業務を担っている。総務企画局が窓口ではあるが、公文書の移管について促すようにする。
委員	23 24 デジタルデータ化について、BIZCOLI も出来ていない。どんなことが障害となっているのか、悩みと解決策を教えてください。
事務局	デジタルデータ化はコストが高いため、主たる方法としてマイクロフィルム撮影している。デジタルデータ化はマイクロフィルム化の約6倍の費用がかかる。歴史的公文書は移管数が少なく閲覧数も少ない。閲覧者は、年間で30件ほどでありコストが高いわりに効果が少ないので情報発信し周知していく。
委員	BIZCOLI もコスト面が大きな問題でデジタルデータ化をする方針はあるが辞めるか限定してやるか検討しているところである。優先順位の方針はあるか。
事務局	デジタルデータ化して公開していくようにしている。予算もあるので優先順位をつけないといけない。古文書については、マイクロフィルムでは白黒しかできないがデジタルだとカラーで記録ができるので限られた予算の中でやっていく。
委員	<25 福岡市文学館の利用拡大 >
事務局	企画展の入場者が減少しているのは、企画そのものに問題があったのか
事務局	入場者の減少については、これまで総合図書館と赤煉瓦文化館の観覧者数の合計だが平成30年度は総合図書館でのみ行った結果であり企画展示のテーマも影響していると考えている。今後も情報発信を積極的に行っていく。
委員	赤煉瓦文化館にエンジニアカフェが入ったが、図書館の本を提供する考えはないのか。

事務局	団体貸出の扱いとなるが、要請があれば対応する。
委員 事務局	<p><30 情報発信の推進></p> <p>インスタグラムでの情報発信はしないのか。</p> <p>インスタグラムは、ビジュアルで見せていく SNS だが、本を撮影して発信するのは、著作権上でさまざまな課題があり現在は考えていない。テレビを見ない世代に向けて、SNS での情報発信を考えていく必要がある。</p>
委員 事務局	<p><27 図書館ボランティアとの共働の推進></p> <p>一般的な配架、本の修理、読み聞かせといった定例的な業務ではなく、職種を限定したボランティアはできないのか。</p> <p>現在のボランティア活動として、読み聞かせや本の修理等をお願いしている。総合図書館もイベントを行っているので、イベント啓発などの活動なども募集できないかと考えている。</p>
委員 事務局	<p>プレスリリースが弱いので広報にたけた人、新聞やメディアとのつながりのある人など、内容ごとにボランティアを募集すると集まってもらえるのではないかと考えている。</p> <p>市政だよりやメールマガジンに取組んでいるが、メディアの力は大きいと思っている。最近企画展示の取材を受けるようになった。福岡市には市政記者がいるが、メディアの文化部へも情報を送れるようにしていきたい。</p>
委員 事務局	<p><26 運営方法（民間活力の導入）の検討></p> <p>東図書館の指定管理者の成果を他の分館へ展開したとか良い点、悪い点を教えてほしい。</p> <p>総合図書館と東図書館には、指定管理者制度が導入されている。総合図書館は施設の維持管理である。また、年間30件ほどイベントも行っている。東図書館は、運営を行っており、それぞれ毎年点検評価委員会を開き外部委員に良い評価を受けている。イベントや人集めを行い、図書館を活性化している。5年間の指定期間なのであと2年であるが、一定の成果は得ている。</p> <p>東図書館で好評だった中高生向け百人一首イベントは、他館でも始まった。どの分館も工夫を凝らした取組を行っており、このように、ある館の試みが他館でも行われるようになった事例は多い。</p>
委員 委員 事務局	<p>【総括の評価調書について】</p> <p>平成26年度から各項目で減少しているが人口は増えているのに反比例している。転入者に図書館の利用案内を配布しているはずだが何故減少するのか。図書の購入費が減っているからか。</p> <p>各館の機能にあったイベントをして特色を出したらいいのではないかと。科学館で利用が増えているようだが、エンジニアカフェにも関連の本を置き、場を提供し本を貸し出すことで利用が広がる。また、イベントと図書館を関連付けるのがいいのではないかと。平成30年度は前年度に比べて貸出利用者数は増えているのに貸出冊数が減っているのは何故か。</p> <p>イベントと本の関連は意識して行うようにしており、イベントに併せブックリストを配布している。科学館の利用者が多いのは、六本松駅から徒歩1分というアクセ</p>

委 員	スなど地理的要因が大きい。貸出利用者と貸出冊数については、以前は書架を見て回って気になる本を10冊借りていたが、インターネット予約が可能になり、予約した本だけ受け取って帰る利用者が増えたことで、冊数が減っているのではないか。
委 員	貸出拠点を作れないのなら駅前にある図書館だけでも開館時間を延ばし、開館日、開館時間を各分館で変えてもいいのではないか。内部評価作成にあたり利用者に近い嘱託職員を参加させてほしい。
事 務 局	早良市民センターのホールで講演会が行われた際、早良図書館でその講演者の本が展示されており、素晴らしい取り組みであった。市施設の「あすみん」に図書を配置したらどうか。 検討する。

(2) 平成30年度新ビジョン事業計画の外部評価の提出について

4. 閉 会

館長挨拶／事務連絡

* 1～30は事業計画一覧表の事業内容